



第34回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子

令和6年2月17日 17:35 開始

準々決勝

香芝市総合体育館 D

◎ 京都精華学園 (京都)	80	<table border="1"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>28</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>17</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>17</td></tr> </table>	17	1st	20	28	2nd	20	17	3rd	20	18	4th	17	77	育英 (兵庫)
17	1st	20														
28	2nd	20														
17	3rd	20														
18	4th	17														

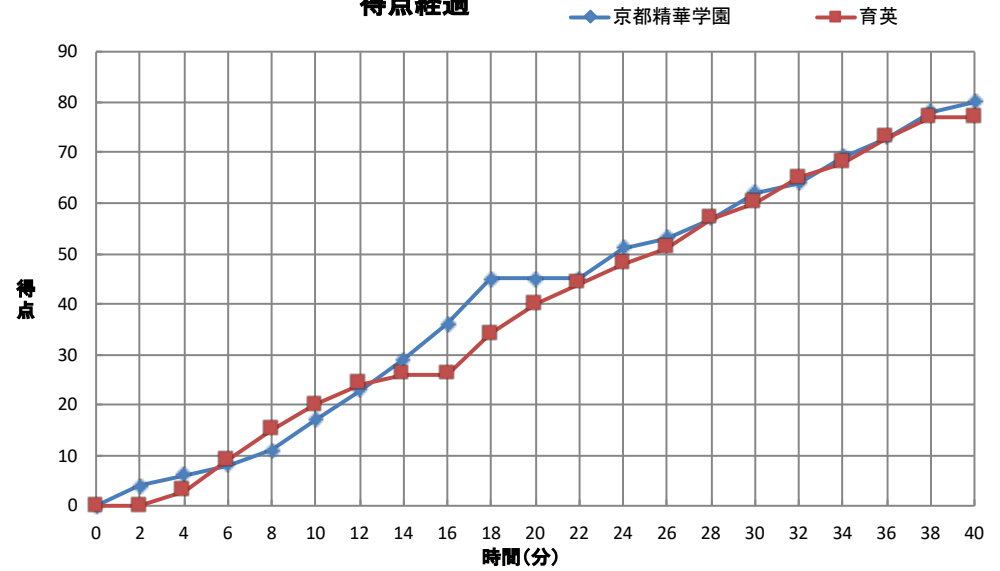
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
00	翁長 佑誠	-	-	-	-	-	2	佐藤 良祐	-	-	-	-	-
2	西村 康太郎	-	-	-	-	-	5	長田 祐聖	17	2	4	3	1
* 6	上野 叶翔	10	1	3	1	0	7	中田 翔	-	-	-	-	-
* 7	善山 亮太	0	0	0	0	1	10	齋藤 貫道	4	0	2	0	1
8	井上 智毅	-	-	-	-	-	* 11	藤村 日向	14	2	4	0	2
11	内山 煌和	-	-	-	-	-	* 18	羽澤 要	15	3	3	0	3
13	新開 温矢	13	0	6	1	1	19	橋 利一	-	-	-	-	-
* 14	西村 晴太	0	0	0	0	1	* 22	馬場 瑠音	10	1	3	1	1
15	西本 圭次	0	0	0	0	0	27	中尾 生	-	-	-	-	-
18	前 和成	0	0	0	0	0	30	麻植 貴太	-	-	-	-	-
19	竹村 寅治郎	-	-	-	-	-	* 39	竹内 琉人	11	1	4	0	1
* 23	東郷 然	27	3	9	0	0	42	肥塚 琉生	-	-	-	-	-
34	キモナ ディエウ	2	0	1	0	2	52	川辺 唯央	-	-	-	-	-
55	林 徠樹	-	-	-	-	-	* 60	山本 優斗	6	0	3	0	1
* 77	ソロモン レイモンド	28	0	13	2	1	69	川村 海誠	-	-	-	-	-
コーチ	山崎 翔一朗						コーチ	沼波 望					
Aコーチ	奥田 翔						Aコーチ	山路 哲司					
合計		80	4	32	4	6	合計		77	9	23	4	10

クルーチーフ: 大野 哲広

1stアンパイア: 阪田 将靖

2ndアンパイア: 片山 峻

得点経過



TO	1・2Q	3・4Q	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	18:27	: 37:27	:	:	:	:
TeamB	12:09	16:16 31:39	36:13	39:27	:	:

〔戦評〕
 第1ピリオド京都精華 6 7 14 23 77 育英 22 60 18 11 39 で、両チームマンツーマンでスタート。京都精華77のインサイド23の速攻で得点を決める。育英は11番の3Pで初得点。京都精華は23番のシュートで得点するが育英の11番のドライブ、39の速攻で育英がリードする。京都精華はメンバーを変え、リズムを変えようとするが、育英の11番がシュート決めリズムを渡さない。京都精華23番が3P、34番がゴール下で得点するも、育英の11番5番のドライブで得点し、17-20 育英が3点リードで第1ピリオドを終える。第2ピリオド、京都精華は77がゴール下でリバウンドから得点に繋げ、逆転する。育英はミスが続き、12点差になったところでタイムアウトを取る。タイムアウト後育英はアウトサイドから攻撃を増やし、18番5番が3Pを沈める。タイムアウト後も育英の流れが続き、39番22番10番のドライブが連続して決まり、45-40 京都精華5点リードで前半を折り返す。
 第3ピリオド、京都精華 14 23 6 7 77 育英 39 60 18 22 11 両チームマンツーマンでスタート。育英18のハイポストからの得点でスタート育英22の速攻、39のシュートで逆転に成功。京都精華は23の連続得点77のインサイドで得点する。しかし育英の18番が連続3P、39番の3Pで育英がリードをする。京都精華は77番のダンクシュートで同点とし終了間際、京都精華23番がシュートを沈め62-60で京都精華2点リードで最終ピリオドへ。育英はディフェンスで粘り11番のフローターで得点を決める。しかし、京都精華の13番、77番のインサイド6番の速攻と連続得点し、7点リードとなり、育英はタイムアウトとる。タイムアウト後、育英は22番11番の連続3Pで1点差にする。その後お互いに得点を取るが、育英22番のバスケットカウントで同点になる。しかし、ミスが出て京都精華13番に速攻を決められたところでタイムアウト。残り3分、75-73 京都精華リード。タイムアウト後、育英5番のゴール下のシュート、11番のバスケットカウントで1点差に追いつく。残り3秒育英ボールでタイムアウト。これを得点することができず京都精華77にゴール下を沈められ試合終了。80-77で京都精華がベスト4を決めた。

戦評: 大和 友哉

記録: 生駒高校